

停電時における「自立運転」方法と系統電力復帰の「連系運転」方法

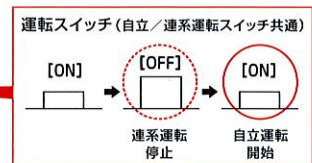
4.0[kW]パワーコンディショナ

ご自宅で停電が発生した場合、太陽光発電システムの運転は自動的に停止します。その際はお客様ご自身が手動で、パワーコンディショナを「自立運転」に切り替えることにより、ご自宅の太陽光発電システムで発電した電力をご利用いただくことができます。

停電時における「自立運転」への切替方法

① 太陽光発電用ブレーカを [OFF] にする。

② 運転スイッチ [ON] の状態から、一度 [OFF] にし、再度 [ON] にする。



③ 「自立」の表示が点灯していることを確認する。



④ 停電用コンセントに安全の注意事項を守りプラグをさしてください。



停電用コンセント
自立運転時、停電用にコンセントに接続して使用可能

系統電力復帰時の「連系運転」への切替方法

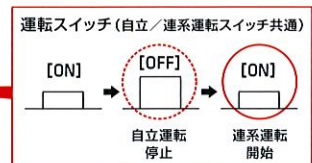
① 停電用コンセントから安全の注意事項を守りプラグを抜いてください。



停電用コンセント

② 太陽光発電用ブレーカを [ON] にする。

③ 運転スイッチ [ON] の状態から、一度 [OFF] にし、再度 [ON] にする。



④ 「連系」の表示が点灯していることを確認する。



※ パワーコンディショナ2台構成の場合：太陽光発電用ブレーカを [OFF] にし、対象となるパワーコンディショナを「自立運転」への切替方法に従って設定してください。
 ※ 「自立運転」操作時は、必ず太陽光発電ブレーカを [OFF] の状態を確認して操作を行ってください。自立運転しないばかりか、パワーコンディショナが故障する恐れがあります。
 ※ 負荷が1.5kW以上(15A以上)になると停止します。※システムに損傷がない場合に限ります。また、夜間や、日中でも日射量の少ないときはご利用いただけません。
 ※ 天候や時間帯によっては、発電が不安定になる場合がありますのでご注意ください。※太陽光の変動により停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。※次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器、パソコン、ワープロなどの情報機器、その他、停電用コンセントに接続した機器が停止すると生命や財産に損害を及ぼす場合。また、供給される電力は天候や影などにより不安定となる場合があります。
 自立運転の際には、生命などに関わる機器は絶対に接続しないでください。※万一の場合、感電や停電用コンセントに接続した機器が突然動作して重度の傷害が起こる恐れがあります。停電用コンセントに機器を接続したままにしないでください。※万一の場合、機能障害や停電が起こる恐れがあります。停電用コンセントを他の家庭内のコンセントと接続しないでください。※感電による傷害が稀に起こる恐れがあります。濡れた手で停電用コンセントを抜き差ししないでください。※感電による傷害や火災が稀に起こる恐れがあります。停電用コンセントにコンセントプラグ以外を挿入しないでください。コンセントプラグは停電用コンセントへ確実に接続してください。

お客様ご自身で取扱説明書に従っても設定できない時や、自立運転していない場合、もしくは、連系運転していない場合は、システムの故障の可能性も考えられますのでお買い求めの販売店もしくは弊社ご相談センターまでご相談ください。

東芝住宅用太陽光発電システム ご相談センター (受付時間) 9:00~17:00 (土日祝祭、年末年始を除く)

個人のお客様窓口
【固定電話の場合】
0120-402743

【携帯電話・PHS・IP電話の場合】
03-5352-7657 (通話料:有料)

法人のお客様窓口
販売店、施工店、報道関係などのお客様はこちらまで
03-5352-7623 (通話料:有料)